

2015 年度研究所 活動実績

・IDES メンバーシップ講演会開催

<p>第 1 講 4/13 (月)</p>	<p>『公共財の長寿命化のための維持・修繕・耐震化の新土木技術と公共財建設へのその技術の活用』 地域防災環境科学研究所 顧問 沓掛 哲男 氏</p> <p>『海外の大都市における交通工学分野の土木技術』 日本工営株式会社 技師長 辻 英夫 氏</p>	<p>第 2 講 5/15 (金)</p>	<p>『建築物における地球温暖化対策等の動向等について』 一般財団法人 建築行政情報センター 専務理事 笹井 俊克 氏</p> <p>『環境作用や外力により劣化・損傷したコンクリート構造物の維持管理』 地域防災環境科学研究所 教授 宮里 心一 氏</p>
<p>第 3 講 6/12 (金)</p>	<p>『巨大津波による大型石油タンクの防災対策』 地域防災環境科学研究所 教授 西村 督 氏</p> <p>『災害対応活動における応急仮設住宅の建設および運営管理』 地域防災環境科学研究所 准教授 円井 基史 氏</p> <p>『南海トラフの巨大津波による大規模火災の予測と防火対策』 地域防災環境科学研究所 教授 増田 達男 氏 教授 永野 紳一郎 氏</p>	<p>第 4 講 7/10 (金)</p>	<p>『道路土工構造物技術基準と社会資本整備の主要課題』 地域防災環境科学研究所 顧問 沓掛 哲男 氏</p> <p>『巨大津波に対する港湾施設の防災対策』 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 研究主監 栗山 善昭 氏</p>
<p>第 5 講 8/28 (金)</p>	<p>『長周期地震動と構造物の耐震性能』 地域防災環境科学研究所 所長・教授 高島 秀雄 氏</p> <p>『東日本大震災の教訓と巨大津波に対する防災対策』 京都大学防災研究所 社会防災研究部門 都市防災計画研究分野 教授 牧 紀男 氏</p>	<p>第 6 講 9/11 (金)</p>	<p>『石川県における直轄河川・道路事業の現状と展望』 金沢河川国道事務所 所長 金澤 文彦 氏</p> <p>『戸建て住宅の液状化対策』 東京工業大学 建築学専攻 准教授 田村 修次 氏</p>

<p>第7講 10/9 (金)</p>	<p>『国土計画とその実現の為の建設の事業及び技術と道路緑化技術基準』 地域防災環境科学研究所 顧問 沓掛 哲男 氏</p> <p>『巨大地震による既存木造住宅の耐震化対策』 地域防災環境科学研究所 教授 後藤 正美 氏</p> <p>『超巨大災害での地域行政と地域住民が連携した防災力の向上対策』 地域防災環境科学研究所 教授 木村 定雄 氏</p>	<p>第8講 11/13 (金)</p>	<p>『地方創生を支える港湾行政の最近の動向』 国土交通省 金沢港湾・空港整備事務所 所長 福元 正武 氏</p> <p>『災害発生時避難施設のための建築・設備の技術』 地域防災環境科学研究所 教授 垂水 弘夫 氏</p> <p>『事業継続の観点から見た建設事業』 地域防災環境科学研究所 准教授 山岸 邦彰 氏</p>
<p>第9講 12/11 (金)</p>	<p>『新しいまちづくりと土木技術』 (一財)民間都市開発推進機構 常務理事 高橋 忍 氏</p> <p>『断層近傍地震動と長周期地震動に対する建物の弾塑性極限応答』 京都大学大学院 工学研究科 教授 竹脇 出 氏</p>	<p>第10講 1/22 (金)</p>	<p>『社会資本(特に道路)整備の今後の課題とその実現のための建設技術—道路のストック効果と生産性の向上—』 地域防災環境科学研究所 顧問 沓掛 哲男 氏</p> <p>『災害監視と国土管理のための衛星リモートセンシングの利用』 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授 田村 正行 氏</p>
<p>第11講 2/19 (金)</p>	<p>『石川県の土木行政の最近の動向～新たな長期構想における公共事業について～』 石川県土木部 参事 盛谷 明弘 氏</p> <p>『防災・減災・災害支援(南海トラフ巨大地震を中心として)』 国土交通省 中部地方整備局 総括防災調整官 水谷 直樹 氏</p>	<p>第12講 3/18 (金)</p>	<p>『平面形状、立面形状が複雑な建物の構造性能評価法(偏心率・剛性率)について』 一般財団法人 日本建築防災協会 技術アドバイザー 太田 勤 氏</p> <p>『南海トラフ巨大災害に対する救援・支援を担う東海北陸自動車道の耐震健全度と耐震整備優先度』 地域防災環境科学研究所 教授 川村 國夫 氏</p> <p>『生活空間の中でどのように音は聞こえるか?』 地域防災環境科学研究所 教授 土田 義郎 氏</p>